

撮影や背景切り抜き工程を自動化 プロ並みの商品撮影が可能に

ECサイト向け商品自動撮影システム

「ALPHAシリーズ」



オービットブイユージャパン(株) 鳴海佑紀社長

オービットブイユージャパン(株)(本社:東京都品川区西五反田7-22-17、鳴海佑紀社長)は、昨年5月に発売したポーランドORBITVU社のECサイト向け商品自動撮影システム「ALPHAシリーズ」が受注を伸ばしている。ALPHAシリーズは高出力・高演色性LED照明システムを採用するとともに、商品撮影や背景切り抜き、アップロードなど一連の作業をソフトウェアで自動化、カメラの知識がない素人でもプロ並みの商品撮影が可能である。独自の技術で、これまで手間がかかっていた透明なもの、精緻なものも正確に切り抜くため、Photoshopで加工することなく、そのままECサイトにアップロードすることができる。さらに、ターンテーブルが付いている機種では360度ビューの回転画像や動画の制作も容易にできるため、品質に厳しいアパレルやジュエリー、時計、部品などの業界でも導入する企業が増えている。鳴海社長にALPHAシリーズの仕組みや特徴、導入メリットなどについて聞いた。

競争が激化するECマーケット コンテンツ画像が重要に

●EC市場(BtoC)が年々右肩上がり成長を続ける中、オービットブイユージャパンでは、グループ会社の(株)アポロクリエイトとともに、フォトオートメーション商品を販売してきました。そして昨年5月にALPHAシリーズを発売しましたが、性能に対する評価が非常に高く、導入する企業が増えているようです。

「日本の国内EC市場の規模は年々拡大しており、2017年には前年比約6%増の16.5兆円になりました。今後も年7%の高い成長を続け、2023年には23兆円に達すると予測されています。購入手段は依然として自宅のパソコンからの購入がトップですが、スマホからの購入が急増しており、その差は0.7ポイントとほぼ同じ市場規模になっています。

こうした状況を考えると、ECにおけるOne to Oneコミュニケーションが重要となり、今後はスマホオムニ化が必須です。スマホからの購入が圧倒的に伸びる中で求められるのは更新頻度やタイムリーな通知であり、新コンテンツページが必要となり、ページ内に掲載するコンテンツ画像が大量に必要になります。

これまで人手に頼っていた商品の撮影、加工の自動化ができるフォトオートメーション商品が注目を集めているのはこうした背景があるからです。アポロクリエイトではEC市場の拡大を見込み、いち早く2010年から米国オートリー社の自動撮影システム(フォトシミリ)の販売を開



一番人気の『ALPHASHOT XL PRO』。
小物からロングブーツまで汎用性が高い

始しました。フォトシミリは、自動化という点では評価されてそれなりに導入が進みましたが、当時の提供技術では、画像品質や切り抜き精度に満足されず導入に二の足を踏む企業も実際ありました。

ALPHAシリーズは、自動撮影システム開発の最大手であるポーランドのORBITVU社が開発した画期的な自動撮影システムです。当時のフォトシミリに比べ、画像の品質、切り抜きの精度が格段に違います。切り抜き精度が高いことで、ほぼ全ての商品でALPHAシリーズは透明背景画像(背景切抜画像)ができるため、背景の差し替えや合成画像ができ、チラシ、カタログ、Web広告などへの2次利用、3次利用もできます。これまで躊躇されていた品質要求が厳しい企業においても導入が進んでいます。一例をあげると、JUN、ニトリ、資生堂、JT、コニカミノルタ、ワールド、ワコール、西松屋、などです」

ノイズのないシャープな 自然な色合いの商品画像を撮影

●ALPHAシリーズはどのような仕組みですか。

「ALPHAシリーズは、ライトボックスと一眼レフカメラを専用ソフトウェアで制御し、パソコンの操作のみで撮影、編集、加工、出力を行います。ワンクリックで即撮影が可能ですが、機材自体に付いているボタンを押しても撮影が始まるので、不慣れな人でも容易に扱うことができます。

ライトボックス内には写真スタジオのような高出力LED照明システムがセットされており、自在な位置に光



小型商材用モデル『ALPHASHOT MICRO』。ジュエリー、ネックレス、腕時計などを撮影するのに最適化されている

を照射することができます。照度はファインダー越しの画像をパソコンで確認しながら調節します。6つの独立したLEDパネルは専用ソフトウェアでコントロール、ノイズのないシャープな自然な色合いの商品画像を撮影します。

ターンテーブル付きの機種では、正面に加えてお好みのアングルからの撮影も思いのままです。例えば、わずか2分で背景が切り抜かれた36枚もの360度ビューの商品画像が完成します。また、あらゆる角度から撮影した被写体を動画化することもできるので、従来のサイトやカタログでは伝わりにくかった、細かなディテールまで鮮明に伝えることができます。

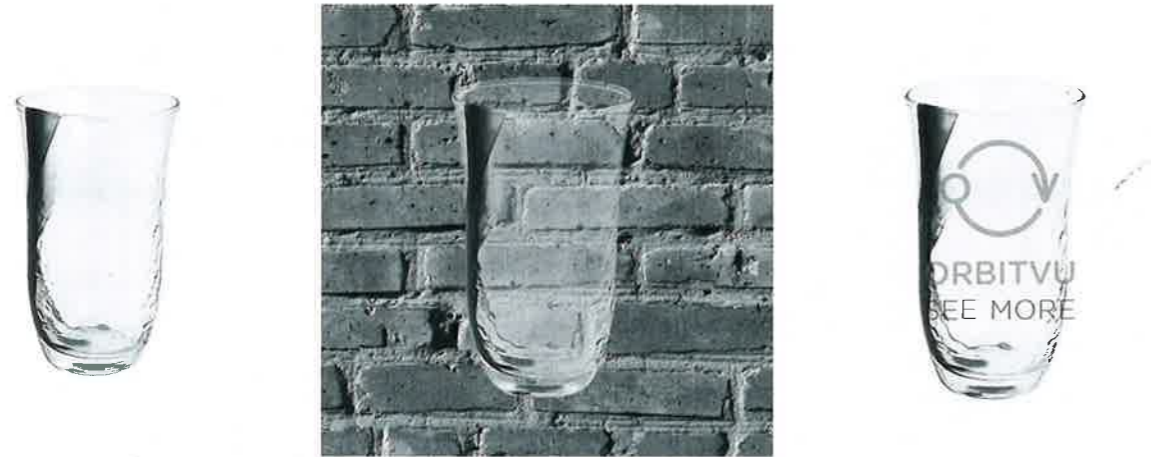
撮影後の編集作業も簡単です。専用ソフトで繊細なレベル補正ができるので、修正の手間やコストがかかりません。独自の技術である背景切り抜きシステムを採用しており、画像処理の高度なアルゴリズムによって、わずか4秒で不要な背景を正確にかつ完全にカットします。

さらに、『撮影環境』『背景切り抜き状態』『編集環境』『被写体位置の残像』などをセットにしてテンプレートを作成できます。こうすることによって、撮影技術がないアルバイトやパートの人でも、質を落とすことなく、誰でも、簡単にプロ並みな撮影が行えます」

被写体の影の画像、で 高精度の切り抜きを可能に

●フォトシミリもALPHAシリーズと同じような機能がありませんでしたが、大きな違いは?

「LED照明と切り抜き精度です。ALPHAシリーズのLED照明システムは自然光にごく近い色で撮影できる高



ALPHAシリーズは独自の技術で透明なグラスでも高精度に背景切抜きができる。背景色の変更や合成、ロゴの差込みなども容易である

演色性のLED照明システムを使っています。ECでクレームが多いのは実物とサイト上の商品画像の「色味、の違い」です。商品画像の色味は非常に重要な要素ですが、輝きのあるジュエリーや透明なグラスなどは再現するのが難しく、苦労している企業も多いと聞きます。

ALPHAシリーズのLED照明システムは、演色性の高低を示すCRI(0~100)が平均98と高く、色味や光沢感や輝きを商品と同じように再現することができます。展示会や当社のショールームで実演を見学された方も一様に再現性の高さに驚かれます。

切り抜きについては、当時のフォトシミリも、撮影した画像を自動的に切り抜きますが、被写体の白光大り部分も背景として認識してしまい、商品によっては切り抜いた画像のフチがギザギザになってしまうことがありました。通常、照明を明るくすればきれいな画像が撮れますが、フォトシミリでは切り抜きの精度が落ちやすくなってしまいます。そのため、商品によっては照明を明るくすることができず、暗い画像になってしまい、Photoshopで修正するという作業も発生していました。

被写体をより正確にきれいに撮るには、背景切り抜きの加減で照明を決めるのではなく、どうすればきれいに撮れるかというベクトルで照明はあるべきです。

ALPHAシリーズでは、被写体に最適な照明で撮影するのはほぼ同時に、逆光状態にして被写体の影を撮ります。切り抜きはこの影の画像で行います。この独自の方法で被写体ははっきり映えるような明るい照明にしても、背景の切り抜きが高精度でできます。実際にALPHAシリーズを導入された企業では、狭い隙間があるプレスレットやジュエリーなどでもPhotoshopによる修正をまったくしないで、そのままサイトに上げられています」

商品画像インフラを構築した会社が生き残る!

●オービットビューージャパンでは「商品画像インフラを構築した会社が生き残る」として、フォトオートメーションによる画像インフラの構築を呼びかけています。

「画像インフラとは、『誰でもいつでも簡単に利益を生み出す画像が作り出せる体制』だと考えています。

EC市場においては今後ますます、スピード、品質、差別化が重要な要素となります。実店舗では商品を並べるだけでいいのですが、ECの場合は全ての商品を画像にしなければなりません。これまでのように人手をかけて撮影して、Photoshopで加工してというような時間がかかるやり方では、販売機会を喪失してしまいます。他のショップとの競争に負けてしまいます。外注に任せるのも選択肢の1つですが、1週間とか2週間待つことになります。

仕入れたその日にアップロードする、さらに360度ビューや動画で差別化することが、これからは必要です。単に撮影しただけの画像は「死んでいる画像、であり、サイトに上げなければ「売上を上げる画像、にはなりません。

フォトオートメーション『ALPHAシリーズ』は、ECサイトに画像を掲載するまでの撮影・編集・加工・アップロードの工程を全て自動化、サイト掲載までのリードタイムを大幅に短縮できます。誰でも簡単に撮影、背景切り抜きができ、しかもプロも認める高画質なので、売上に直結する画像が短時間につくれます。JPEG/PNG/RAW/PSDなど、あるいはリサイズ/ロゴ貼り/どこのフォルダに出したいかなど、同時に何パターンも複数形式の出力ができます。動画も360度ビューも思いのままです。撮影後すぐに必要とされる部署へ出力することでいろいろな企画が同時進行で動かせます。

ALPHAシリーズを活用すれば、『画像インフラ』を容

易に構築できるだけでなく、撮影や編集時間が今までの10分の1になりますので、浮いた時間で他の業務をすることもできるし、浮いた時間や予算をイメージカットやモデルカットなどに回せるようになります」

透明背景画像なら背景の差し替えや合成画像も容易

「楽天ガイドラインが改正され、この3月からモール掲載においては『商品ページの第1画像はテキスト要素20%以内、枠線なし、画像背景は写真背景または単色白背景のみ』と厳格になりました。少なくとも第1画像は背景が白い画像でなければなりません。アマゾンでも同様です。白背景画像は企業が揃えなければならない最低限の画像になりました。

しかし、当社としてはただの白背景画像では駄目で、透明背景でなければ意味がないと考えています。というのは、白背景画像は白という情報が残っていて、背景の差し替えや合成画像がつかないからです。商品ページだけなら白背景画像だけで十分です。しかし、これしか使えません。他で使用するにはPhotoshopで加工する必要があります。

ALPHAシリーズなら透明なものでも、非常に細かいものでも、ものを選ばずに全て白背景ではなく、背景が透明な画像を作ることができます。背景がなければどんな画像とも組み合わせることができます。チラシ、カタログ、Web広告などへの2次、3次利用も容易です。つまり白背景画像はインフラとしては不都合なのです。ALPHAシリーズによる画像インフラの構築を提案するのはこうした理由もあります。従来のフォトシミリでは透明画像はできません」

●ALPHAシリーズのラインアップを教えてください。

「小物・雑貨モデルから人物やマネキンも撮影できる大型モデルまで8タイプを揃えています。

人気が高いのは一般サイズの『ALPHASHOT XL PRO』です。小物からロングブーツまでオールラウンダーの撮影スタジオです。トップライトと移動可能なフロントライトにより陰影や反射の制御が可能です。もちろん360度ビューも作成できます。カメラは専用のアームにより正確

な移動が可能です。最大被写体サイズはW50×H70×D30(センチ)です。価格は税抜きで310万円、リースの場合は月額60,500円ととてもリーズナブルな設定をしています。これまで導入されたお客さまで、費用で迷われた企業は1社もありません。リースの場合ですと1日当たり2,000円ですから」

●今後はどういう展開をしていくお考えですか。

「お客さまへのサポート体制を強化していきます。ALPHAシリーズはできることが多く、お客さまの満足度も期待度も非常に高いものがあります。こうしたお客さまの期待に応えるため、プロの写真家も含めた専門のサクセスチームを立ち上げ、お客さまのサクセスをサポートしていきます。商品をよりきれいに撮影する方法とか、誰でもできるということはルールを決める必要がありますが、各社の実状に合わせたルールづくりやテンプレートづくりのお手伝いをしていく考えです」



東京本社・ショールーム

【オービットビューージャパンの会社概要】

▽設立：2017年10月

▽東京本社/ショールーム：

東京都品川区西五反田7-22-17、

電話0120-410-913、

<https://photoautomation.jp>

▽大阪支店/ショールーム：大阪市中央区大手町1-7-31

▽名古屋ショールーム：名古屋市中区丸の内3-17-6

▽事業内容：商品写真撮影システム販売・サポート・ローカライズ